

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる		
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	地域の方が野菜を届けてくれたり、リンゴの木の方は庭に咲いているお花を持ってきてくれる。その際、一緒にお茶を飲まれ会話をしてみたい。さらに、大勢の方と交流の場を増やしていきたい。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	来年度も外出の機会をさらにふやしていきたい。

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	夏祭り、新年会の際、家族会を設け、地域の方にも参加して頂いたり、災害時の避難場所として提供できるよう、話し合いをもっている。実習生の受け入れも積極的に行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価された部分の内容について、改善点は、質の向上に向け、取り組むよう努力している。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族会の席で報告や、話し合いを設け皆さんからの意見をもとに、サービス向上に活かしている。		
9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護認定困難事例等の相談に、市町村担当者に相談し、サービスの質の向上に努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	専門研修等に参加し、研修報告、複命書を書き職員に回覧し、本人の状況に於いて必要時には、支援援助を図っている。		
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加したり、職員会議等で学ぶ機会を設け、防止に努めている。	○	月一度程度及び必要時会議を開き、虐待がない職員間でさらに周知徹底を図っていきたい。

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	○	出納帳については、家族に電話で必要時連絡を図っている事もある。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	勤務変更の申し出を図り、必要な時間帯の確保を設けている。

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動により、不安を与えないように時間を作り接したり、担当制を導入し異動等によるダメージを最小限に防ぐ配慮をしている。	○	職員同士の交流をさらに密にしていきたい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他施設との交流研修又、豊智福祉会の研修を設け技術を習得している。	○	職員の休息時間を活用し、伝達研修を設け、レベルアップしている。
20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会での勉強会・会議に出席し交流をはかっている。他施設との交流研修を実施し、サービスの質を向上させている。	○	グループホーム研修会の際、交流会に参加し、情報交換を得ている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員同士の悩み、相談を常に聴く体制に心掛けている。飲食会を設けストレス発散の機会としている。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の周知徹底を図りつつ、変更があった場合に於いても、それぞれ把握が出来るよう書面伝達で図っている。運営者は、週1回程度来所されている。		

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面接を行い、本人の不平・不満が解消できるよう傾聴し、不穏になる要素を減らしていくよう努める。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の悩みを傾聴し、家族と本人が安心されるよう支援しながら、家族との信頼関係を作っていく。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に家族と本人と面接を行い何が問題になっているか、しっかりと見極めた上での対応に努めている。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が事業所を見学して頂くことから始め、本人が不穏となる材料を取り除き、安心した落ち着いた生活が送れるよう、本人の居場所を見つけてあげる工夫をしている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に寄り添いながら、昔慣れ親しんだ生活、環境、食事の場面等を傾聴し参考できる部分は取り入れ、維持できる部分を支援している。	

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の訴えを傾聴し安心した生活が送れるよう促し、日々の出来事を報告し、家族と共に見守りながら支援をしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が来所された際には、居室で一緒にお茶を飲んで頂いたり、行事の際には一緒に参加して頂いたり等で、状況を伝え、コミュニケーションを図っている。	○	居室で家族と一緒に飲みながら、お話ができる事が利用者にとって楽しみのひとつとなっている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・友人・親戚・御近所の方の来所時には、居室で一緒にお茶を飲んだり、お話をされたり、思い々に過ごして頂いている。	○	本人が大事にされてきた物、馴染みの人、引き続き大切にしていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員も一緒にお茶を飲み、又、散歩、お手伝い、グループワーク等を図り、常に仲間作りに努めている。	○	職員も一緒にお茶を飲む事によって、いろいろな話ができたり、利用者の方も落ち着いた時間がとれる。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も家族の付き合いをし、相談に応じている。		

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン変更時には、カンファレンス等において本人の希望、家族の意向を聞いている。外出、外食など希望を聞き、実現できるように努めている。	○	なるべく本人の希望に添った対応を心掛けて実施していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人からの聞き取りが難しい部分に於いては、家族から情報を得ている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝決まった時間に健康チェックを行っている。又、行動、過ごし方を見守りながら、異変の気づきを図っている。	○	一人ひとりの状況に応じた対応を心掛けたり、又、把握に努めている。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族からの意向をお聞きし、会議等にて職員間の意見を取り入れ本人に添った、その人らしいプランを作成している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月一度の会議にて、個別ケースの検討を図り、必要に応じたプランの見直しを図っている。家族にも来所時報告をしている。又、定期的に見直しもしている。	○	家族来所時、又は、家族会にて説明をし、同意を得ている。



認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌に日々の記録、個別ケースにも転記をしている。個別ケースに於いても、プランの結果を記入、職員間で情報を共有している。申し送りノートにも記入し周知徹底をはかる。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望を取り入れ、他のユニットへ見学、行事等の参加をしている。通院や入院等、必要に応じて送迎なども行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	歌、オカリナ、朗読ボランティアの協力を得たり、小学生、中学生との交流の場を設けている。地域のスーパー等にも協力を得ている。	○	絵手紙、貼り絵、年賀状のやりとりを得ている。
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や体調に応じ、カット、毛染め、美容院を利用している。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議の際や、支所へ出向いた時に協力をお願いしたり、家族にも支援センターの所在を知って頂き、家族会や行事の参加をお願いしている。		



認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>家族の中には、ターミナル、看取りを希望されている。方針を共有できる体制を図っていきたい。11月に看取り1名。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>重度化への技術習得、ターミナルに向けた勉強会、研修等に参加をしている。介護と医療の連携をとり、看護師の配置等を検討していきたい。</p>

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境変化による不穏原因を、本人の話に耳を傾けたり、表情・行動を観察し、スタッフ日課の都合のみを強制しないよう家族及びスタッフ間で、情報交換する体制をとっている。	○	不穏原因を、しっかりと解明できる対応をとっていく。
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	最小限の声掛けを行い、最大限の言葉を発せられるような働き掛けを行っている。又、本人に関わる情報伝達について、スタッフのみの場所にて行っている。	○	個々のプライバシーに於いては、常に気をつけた対応を今後も心掛けて行きたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望や訴えを傾聴し、その方に合った納得、決断をして頂いている。	○	自分の思いが尊重できるよう、待つ介護を試みていく。
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴日、午前と午後に分かれているが、本人の体調と順番を聞きながら実施している。買い物や散歩等、一人ひとりの状態や希望にも配慮をしている。	○	外出日の入浴・行事等に於いての入浴日の変更を、利用者の方にお知らせし、希望を聞いてからの対応としている。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	年をとっても、いつまでもおしゃれでいたい気持ちを大事にしている。 カット・毛染めに於いては、本人の希望、職員の配慮から、定期的にきれいにしている。	○	洋服も入浴時、購入時、本人の好きな物を選んで頂いている。毛染めについては、本人の好きな色を選んで頂いている。 又、髪の毛の長さも本人の希望を取り入れている。

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	外出をした際に、外食をたのしんでいる。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	特に便の関係については、確認が取れば排泄表に記入をしている。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	自室で休息を取りたがらない方に関しては、和室を利用し、休んで頂いている。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	洗濯ほし、洗濯たたみ、キッチンのお手伝い、下ごしらえ、畑仕事、お花の手入れ水くれ等、それぞれ楽しみを持ってお手伝いをして頂いている。

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理不可の為、職員管理となっている。購入希望があれば本人に聞き、購入をしている。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買い物に、週2回少数の利用者と一緒に外出をしている。散歩(日常的)は、皆さん喜ばれて行かれている。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じた外出の機会を得ている。外出後は、写真を掲示し会話を楽しんでいる。	○	本人の希望と家族の受け入れを聞き、帰省ができるよう支援していきたい。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の家族、姉妹等に電話や手紙の希望時には、取次ぎをしたりポストへ速やかに投函した支援をしている。常に側に身内が見守っている安心感を与えている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	共有スペースを開放しているが、気軽に会話ができるように各居室空間を居心地よく過ごせるようにしている。おもてなしを大切にしている。	○	面会・来所時の際には、必ずお茶とお茶菓子・漬物等で一緒に過ごす時間とって頂いている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない取り組みを徹底している。会議等でもさらに確認をとっている。		

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	特に夏場はエアコンに頼らずオープンにしている。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	誤嚥しやすい方については、職員が必ず隣に座る等の配慮をしている。転倒については靴の見直し等を定期的に図っている。又、下肢筋力強化に努めている。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>リスクマネジメント委員会に必ず出席し、リスクについて認識を高め、家族等にも説明している。又、小さな出来事でも報告している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>バイタルサイン、及び、表情・動き等で異変の発見に努めている。(医師のアドバイスを受けている。)</p>	○	毎日、決まった時間にバイタルチェックを行っている。その際にも、体調の変化に気をつけている。
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>服薬確認、及びチェック表に記入し、症状の変化確認に努めている。又、疑問点は医師に問い合わせるようにしている。</p>	○	服用薬の内容については、ファイルにて職員一人ひとりに把握に努めている。又、服用時も職員が手渡しで利用者に渡し、服用の確認を図っている。
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>できる限り、排便のチェックと、便秘予防の為、飲食物の工夫、活動を高める為の働きかけに取り組んでいる。</p>	○	食育に関する知識を高める為、研修を充実していきたい。
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>食後の口腔内清潔保持の為、一人ひとりに合った支援方法を工夫し、口腔状態の異変にも気づくよう観察している。</p>	○	一回/年(数日に分け)公衆衛生専門学校の生徒さんの研修を受け入れ、専門的な知識と実習を通して認識を高めあっている。
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>毎週一回の体重測定により、体重管理をしている。特にカロリー計算はしていないが、栄養バランスを見ながらメニューを工夫している。又、水分補給は十分にとって頂いている。</p>	○	病的に問題のある方に関しては、量を制限したり対応をしている。散歩後、入浴後他細目に水分補給をとって頂いている。又、自由にお茶が飲めるように、ポットを用意している。




認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	流行感染の通達があれば即、マニュアルに添った対応・予防に努めている。又、症状の異変に気がついたら、情報交換を密に行っている。感染症対策委員会を開き予防に努めている。	○	常にうがい、手洗いの励行をしている。食事・おやつの前には、必ずウエルパスで消毒を実施、又、玄関入り口に外部消毒液を設けている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理には常に安全な食事を提供できるよう、一緒にお手伝いできる利用者の衛生管理にも配慮している。賞味期限内に利用する。	○	まな板、ふきん、使用量の激しい物に関しては、ハイター液で毎日消毒している。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	整理、整頓に心がけ安全に出入り出来ることを工夫し、又、花・観葉植物等を設置することで、親しみやすい空間になるよう努めている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や植物、昔なつかしい物、目を楽しませてくれる壁画を飾り、季節感を取り入れている。時々お香を焚いている。 毎月「りんどう新聞」の掲示をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	おやつ、食事以外は自由にリビングにいたり、各居室に入り、思い々の時間を過ごして頂いている。ただし、こもりつきりにならないように働きかけも行っている。	○	特に和室の場所、テーブルの上で洗濯たたみを、皆さんで話をしながら行って頂いている。



認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、長年使っていた馴染みの物や、思い出の写真を飾ったりし、本人にあった工夫を家族と共に相談しながら支援している。	○	皆さん、お花が大好きですので、各居室にお花を飾ったり観葉植物を置いたり、家族の方が持参された物を飾ったり、各々の個性が出ている。
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温・湿度計を参考にしながら、体調不良を訴えないうちに、冷房・暖房を調節している。又、起床時、日中細目に換気を行ったり香を焚いている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体機能を観察しながら安全に配慮し、見守りの中行動に移せるよう、ソファー、椅子の位置、玄関周りの椅子等工夫している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱しないよう、次の行動を明確に示し、一度に多くの言葉がけはしないよう配慮し、本人の考える時間をとって安心して暮らせるよう工夫している。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	洗濯物を一緒に干したり、取り込んだりできるような普通の家庭同様に、わずかな距離に物干し場を設けたり、工夫している。又、畑で野菜を作り楽しんでいる。出窓を利用し、植物鑑賞をしている。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

認知症高齢者グループホーム泉平ファミリー・りんどうユニット

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・自立した活動ができるよう言葉掛けの工夫をし、手を出しすぎず、見守りの姿勢をとっている。
- ・利用者同士の会話（コミュニケーション）を大切にし、話題を提供するのは、職員だったりするが、職員が中心とならないように皆さんの話をしっかりと聞くよう心掛けている。
- ・毎日の散歩によって、季節を感じとって頂いたり、いろいろな人に出会える喜びを楽しみとされている為、散歩は欠かさず行っている。
- ・小学生との交流会に於いては、その都度内容は自分達で考えて、利用者の方を喜ばせてあげています。又、新年会の際には、父兄も参加しお琴を演奏して頂き、さらに父兄とも輪を広げることができました。